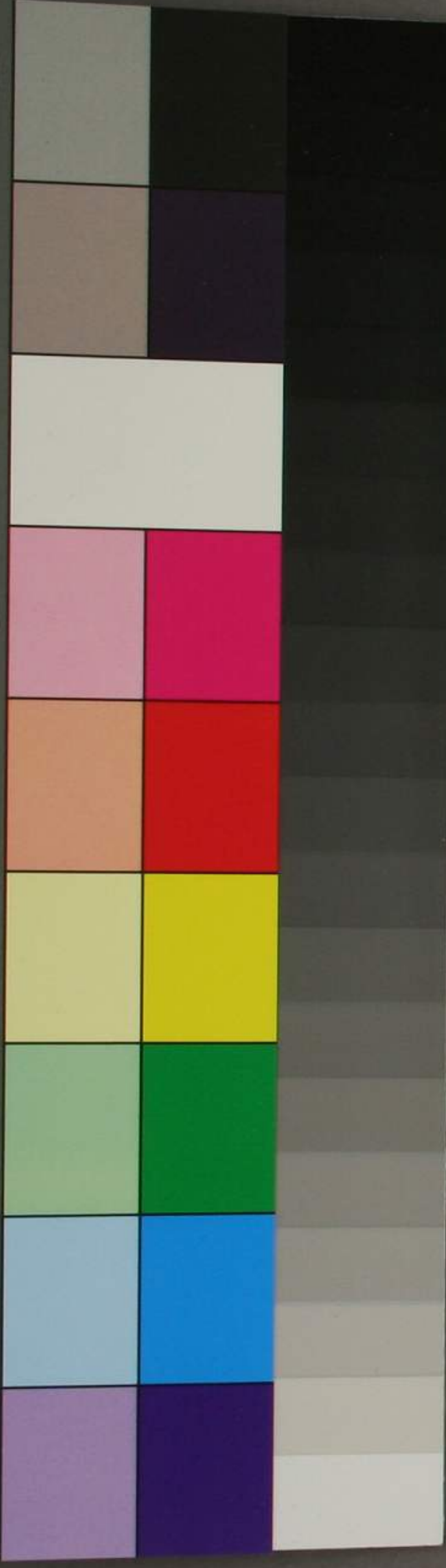


KODAK Color Control Patches
© The Tiffen Company, 2000
LICENSED PRODUCT



電印

龜羊
林



後世傳授車序

明治三十八年
九月十一日
購

樂天勸學此文曰田あれば耕ざるは

倉廩なり書あれども教ざれば子孫愚

なりと云ふ所の業も主道とよきことなり

耕すも亦たうと教もんとあざむくは夜ちま

こと行ふいさうしんひる紙と後世傳授車

といふと人あふ事以て傳へて俄に根のゆと

なるといふはあはれ唯をのましくは後世

うるといふは工吏とめぐる車乃これなりと

天啓の時ひては限着と成る事のものなり

遠
門
666
卷 1

これとまじりし人との心は乃使もなりあるりと短
さうんぐとようして大毫の笑ひ草となしむの嘆
る事乃まじりあしむのこ

治下隠士

元文二年丁巳十二月吉辰

郡廣舎

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]



後世傳授車卷之一

目錄

神職あんなあま

普傳方ふせん

杖本屋ざいめん

[Vertical text in the left margin]

後世傳授車卷之一

神藏

又混元割き分れ陸陽并降と海水凝やまり洲とあり。
 其中よ大なる名あるもの三つ。天皇唐土日が有り。中よもいふ偏小と
 いへども神心らして天神七代の初國常立をより比神の祀
 天照皇古神宮に坐乃降よやとせしひ皇孫瓊々杵言け秋
 津洲小天降り世と治り後よ三十一万八千六百三十二年。庚寅に出
 見号六十五万七千八百九十二。鷓鴣草昔不合号八十二万六千
 四十二。神武天皇即位して二千二百六十年の余於てを百七十九万
 四千八百二十余の今小あり。直あると守り初を拂ひ清めて
 神人神心なり。志うるよ世小いするあり。誰の息子何をれ小僕ぬけ
 ありや。秋もいふとて於て過人とかけ引ずり度と標の本を傳

後世傳授車卷之一

つげをきくハ神祓とぬよて其身に土産まで調へ下向
ことあがてて、人の耳と髪をけりて神祓めいりて
ちりめすらん。いってかま敷のふ小背き家とぬけ出まつる祀礼
と清く横乃若の身なりよ、立給はんや。奈も日本第一の神祓
た扱の云化法若をいひきま給はん。あかかて、咄よもせぬる也。
或ハ本とおしこす人神、社土とこれハ祟とをす乃佛圖西にあ
つ。是ハ其意の下人放埒ふぬすむるハ社禁戒るハ扱あり、扱
情じい気生れ、惱れ増長人よてもおしぬか、ぬと離るれ、情なるあ
り。いんや神佛ふおおし、欲んあるべし、山城石村は、他々とりふ
者。子九才よりけり、つ。祀父お果いも、七日もたぬよ、生祓の社、ま
りしよ、神心とが、あめく石壇より、柏落し、給ひ、とて、お科よ
か、るよ、と、さ、さ、あ、ひ、人、と、集、あ、あ、た、あ、る、ふ、神、仏、ハ、あ、い、り、の、

やうよ、い、こ、そ、い、ぐ、る、あり。是がどまのあ、り、此、舞、あり。い、う、で、う、祓
は、神、あ、り、ん、や、と、先、と、い、ひ、び、こ、と、れ、湯、を、ま、つ、す、れ、ハ、神、た、り、ま、ら
神子ふのり、う、つ、り、あ、い、め、ま、け、う、く、託、宣、回、く、これ、ハ、これ、祓、よ、ま、は、
り、和、光、と、く、や、し、氏、子、と、守、り、と、い、く、り、と、次、人、あ、す、り、扱、よ、
あ、り、す、り、あり。況、我、神、う、て、け、れ、も、忌、も、あ、り、ぬ、意、よ、あ、ん、ぞ、舞、と
あ、て、神、を、と、さ、す、き、自、上、壇、て、怪、我、と、せ、ハ、是、也、な、り。考、
く、氏、神、と、も、ま、あ、ん、を、ま、ら、う、怪、我、乃、か、や、う、よ、ま、り、の、う、が、祓、あ、
れ、也。其、日、ハ、東、乃、吉、田、へ、か、き、ゆ、よ、あ、ん、と、て、お、念、か、れ、を、比、め、い、く、か
湯、と、く、け、り、と、や、う、れ、い、く、なり。た、る、氏、子、と、あ、ま、ら、さ、せ、こ
と、神、ご、ろ、と、も、是、也、あ、り。さ、り、と、ハ、堪、悪、し、て、く、れ、と、け、り、て、
な、れ、ま、い、ま、り、の、を、き、相、系、ハ、編、局、と、ハ、神、昔、ハ、象、康、政、
建、を、ら、り、社、の、氏、家、の、比、ま、で、ハ、舞、系、業、は、り、が、次、来、く、は、表、へ

つらまもおもひげのそけりて神道妻を又田代修り。畑とらぐら。神
獄の波世傳授車もまらうて云念のかりいとあり。あやしく
も神道の月らして百姓小落て物より文ふあり。畑とらぐらといと
ふと神のふらうら。社並く芥の塵よ交らんといと。何とぞ仕合
と初て二夜宮と造営せんといと。神へさく神とさけ。毎日さ
の後と初ド六根と清め清浄心連の真をひくすうといと。お
世の飛行つて明くてやまあるしもさく。神災苦よせまら。系
ふよまらせど。或時初つあつ初織を後石又拾又此質よやりて
揚世をり。初神あよと多。毎初く寝るもさく。神落し
とかま。氣とれる。教足あり。女房扱子とらうといと。不審とふし。
初よ氣のちぐら。このあつんとさふの人こよも咄てうてくれ
らもせんといと。かくて七日までかの神よてま。氣をあげて初しき

巻小系て形よ。指出虚空をぬ。うましく何やうんとあふ
けらよ。教妻の初とも。鼻とありしはと。おごらうてま。集る。ま
財妻を又幣白とらう。大者あげ。いよめ。ほよまきけ。神道社。初荷
の神ハ。整。あつた。ま。う。て。ま。名。世。よ。さ。う。今。改。よ。大。破。よ。多。ぶ
と。と。ども。氣。初。く。修。理。を。加。ふ。ら。不。力。也。さ。う。よ。い。く。は。氣。の。神。揚
と。揚。へ。ら。初。又。福。を。あ。え。社。再。興。の。助。力。と。も。あ。つ。ん。え。へ。あ。り
お。ハ。こ。れ。を。え。べ。し。初。神。又。よ。も。叶。ふ。さ。き。あり。あ。又。ま。を。受。へ。も。さ。く
して。初。て。神。む。つ。あ。つ。る。べ。し。謹。上。再。修。く。と。初。印。う。り。さ。ら。れ。ば。さ。す。が
畜。生。よ。も。横。た。ら。う。と。や。初。り。初。き。う。か。つ。ま。う。て。初。を。ん。か。つ。り。く
失。よ。ら。り。中。よ。も。ふ。か。と。初。の。を。げ。と。初。を。正。止。す。ま。氣。を。足。暖
初。の。初。り。と。く。ハ。初。り。初。ハ。初。の。上。風。飄。く。と。ひ。や。じ。な。ま。き。あり
さ。ま。女。房。け。初。を。見。て。初。ま。す。え。う。の。氣。遠。く。初。つ。さ。よ。と。大。も

女房の受車
一
四



くハぬ。喧嘩とありしもあつ。二十日むりもきて、焼つてせう武
 士をかいらぬ。来た。妻をまゝ射面し。拙者ハ神坂城に助
 家来津川はあつと申。若主人を人の娘今ひ十五文をそと去。大名
 へ嫁れ。いささくいぢのふ。瓶つき中。医療。新漆さましくかれ
 ども其。強さうよ。強者。と。瓶。つ。せ。人。ハ。瓶。つ。や。う。凡。日。中
 玉。中。ハ。瓶。つ。強。者。か。し。た。と。い。相。京。の。妻。を。ま。あ。り。と。も。あ。ま
 か。ど。の。さ。う。あ。ん。か。ど。は。び。く。と。い。ん。を。比。出。若。者。あ。ぐ。く。出。あ。り
 と。指。ま。と。洗。下。これ。かん。や。と。い。ん。神。主。う。あ。つ。きた。と。ハ。大。層。乃
 姐。妹。瓶。は。ち。子。の。塚。の。神。が。鈴。の。玉。藻。の。ち。あ。り。と。も。強。さ。う。て
 や。と。き。中。へ。き。い。ん。安。く。あ。り。と。使。者。と。つ。れ。ざ。ら。い。ん。を。ま。へ。ま。い。り。
 此。病。人。の。体。よ。入。て。下。ら。ど。も。く。あ。む。む。い。大。言。あ。げ。何。方。乃。瓶
 あり。ぞ。何。る。よ。あ。つ。と。申。若。者。を。か。や。ま。す。ぞ。と。あ。つ。と。つ。れ。バ。瓶。若
 者。

登へ。既。を。す。り。つ。け。と。い。ハ。ア。を。い。と。妻。を。ま。ま。を。それ。い。ゆ。り。ト
 され。と。い。う。と。あ。ハ。例。れ。外。し。氣。と。強。い。さ。う。人。く。強。さ。う。あ。ま
 氣。つ。け。よ。と。い。ハ。と。妻。を。ま。ま。わ。ら。あ。つ。あ。ら。う。と。中。長。後。を
 喝。入。聲。中。ふ。て。瓶。若。と。振。り。た。れ。ハ。忽。ち。氣。と。あ。り。強。く。殿。様。ハ。い。よ
 及。む。す。家。中。後。ひ。の。眉。と。并。き。神。主。と。も。て。あ。し。金。子。百。両。吳。服
 かん。ど。ね。領。し。利。石。石。の。社。料。と。付。ま。ふ。妻。を。ま。ま。の。心。地。して。瓶。が
 ごと。く。あ。ま。か。り。と。い。ハ。と。女。房。細。工。の。流。き。氣。ち。い。の。仕。わ。け。ん。て
 と。け。と。先。め。神。へ。百。焼。よ。と。す。よ。と。い。り。き。あ。る。ハ。豊。國。殿。が。入
 び。後。より。山。位。若。者。び。方。若。者。瓶。よ。あ。ま。ま。され。瓶。若。若。仕。る。出。下。こ
 れ。と。い。ハ。瓶。若。か。し。こ。よ。あ。り。首。尾。よく。廣。し。根。百。枚。持。瓶。若。の。嫁
 又。付。ま。し。た。と。れ。よ。くれ。バ。大。名。が。い。の。大。富。屋。の。妻。よ。つ。い。と。う。い。ハ。よ
 くら。あ。つ。と。も。相。京。の。神。主。か。し。こ。う。も。妻。を。ま。ま。と。も。あ。つ。と。出。し。

負のあつげよてみふふあ物出く。さすまゝに社と建田細山を
買束ぬ社領官位とす。之。衣服と持入。全段の校給仍熱
揚へく先のけく

普請方

職不もわつ次高人よてもあき後世いそもあつ中よも。普請
方よ竹かんどの知智祭殿と才一として。も付授車と終ま
りて。も人富貴の人の氣入り宿とく。飲に拍子よく。拾里
サ之居の晴とあり。孫地厚味ハ多連といと。守なり。或ハ百目入
りハ六拾目よて。後合。扱志か。く。新。ま。か。く。あんど。よ。より
大分の住よと。治。れ。ゆ。そ。り。と。ハ。愚。鈍。よ。て。中。の。ぬ。し。せ。い。な。つ。り。
それむじりのゆよて。今附らまひるさせぬ。く。き。世。の。中。よ。て。
魁角才と御。く。き。始。末。の。ま。と。と。す。れ。ぬ。て。を。才。一。あ。く。め

時ハ利ハ代のお軍東山屋とヤヤ。ハ。美。風。流。と。好。ま。せ。治
い。茶。湯。祀。能。の。扱。ま。も。これ。り。世。よ。さ。う。ん。よ。あ。り。う。り。と。う。や。
け。美。我。政。と。ヤ。ハ。一。条。家。田。の。ま。ん。よ。相。見。の。亭。と。建。て。れ。ん。と。て。於
よ。名。あ。つ。大。工。九。官。つ。と。い。集。り。是。と。い。と。あ。む。時。地。形。こ。ろ。人。あ。ま。り
集。あ。げ。ん。と。東。加。茂。川。う。り。砂。を。く。こ。び。ま。地。を。つ。く。り。み。入。れ。あ。つ
べ。と。行。出。さ。れ。か。と。ふ。ま。る。の。西。に。れ。と。入。改。工。官。かん。と。り
よ。お。く。し。一。枚。入。る。者。ハ。伴。中。マ。仁。介。と。名。あ。り。よ。と。と。あ。り。り。し
と。あ。り。ま。を。さ。す。先。ら。の。れ。一。と。役。人。よ。う。て。三。十。六。百。五。十。り
二千六百五まで。ごんく。扱。も。よ。い。い。つ。ち。り。二千六百五よて
ハ。車。カ。や。ろ。く。あ。ん。ふ。何。と。う。く。を。さ。く。く。み。と。人。と。あ。る。ぶ。じ
次。に。分。り。入。れ。千。五。百。八。十。五。これ。ハ。後。合。長。ゆ。ど。り。二千の
才。遠。い。あ。り。と。仁。介。と。め。され。仕。用。帳。よ。一。と。合。して。以。吟。味。か

もお遠のたなきやう。役人成せんさくありて。かのるのちが
以下車ごけあ〜かんとりすてもあるまじ。とくく地形さく
は通築バ独と。入れ伴がら小房で。ゆるりゆえこむセヤ
べ。畏りて法合けり。採は地形之尺あまりをつくる。加茂川
より一日は車又六百板ありし。ふ二十日むりの日敷ありねむ
ぬ。然しかささと。つづふ十板か。つづふや。日やうまこむ。
十月三日とまふも出来ず。大工方をと見こ。あのがんよてハ
中く建ちのらよ合やさず。う〜P上るよつき。に今とよび。中
よごごの車よてゆつくんこびて。今日までかくのごくよてハる
小合ぬあり。大工の四用と法を。何とてかくぶよさい。子百と志
しれ。か〜こまうなりて。其三日ハ二百板むらふてごんこむ
けれども。又このごく〜ごごよてとこびて。中こらよ合けしきハ見

えす。役人りのそのお破屋し。に今とよびつけ。は日まりある四用を
法をかく不持ありある。云は同改不屋ふる。築へ入れんと
めありければ。に今とよび。か〜こまう。さんけいハ入れ。こらハ
せらよ普通法もさまでんへ。Pさ法ハ。車力も下車ありんと
ころのり遠い。天下を平ありとて法方の家法。あ〜のちも一
ときよて車とやり。ゆも中く不中なり。彼をん合。居中内
延引よ及び。ふ〜。今築ハ。入下されんてハ。出来ず。次。
築。こ〜。空り。P。は上あ〜。に折。あり。は。度。は。普通。法。場。の。後
よ。廣。き。定。地。に。在。は。は。西。状。志。が。し。に。借。下。され。か。ハ。其。元。地。の。土。と。不
つて。其。土。よて。先。地。形。と。つ。き。に。普。通。の。ら。と。合。せ。に。度。建。は。ま。ん
ま。て。よ。い。を。場。ら。不。急。度。埋。か。へ。せ。と。の。ご。く。は。る。へ。何。と。ぞ
は。あ。と。い。ま。う。死。下。され。は。つ。六。七。日。の。う。ち。移。り。乃。通。地。と。つ。き。P

へしとの影ひ役人雇まていけ。何かよもれ用るちびてハ成
まじ。りこのるり埋て入るるる。ハありまじさ。まといわ後
の上まで。ゆるいま埋るる。不意に埋るる。ハ。との花文とさう。上。其
通うは。べしといゆりされれ。ながて。といれ。をの。を。けり。敷子
人の人。是。と。入。敷。よ。日。ふ。つ。ぎ。て。埋。せ。けれ。ば。六。日。の。うち。よ。ま。速。く。人
あま。り。つ。き。て。ハ。殿。も。滞。り。か。く。敷。物。で。し。時。あ。ら。り。さ。さ。し。流。れ
あ。り。け。り。と。い。て。入。を。さ。て。ま。さ。う。溝。と。つ。け。其。埋。る。お。へ。さ。さ。お
と。し。る。も。あ。る。る。を。ぞ。埋。せ。と。さ。ころ。と。ま。る。横。石。を。え。よ。を。せ。
す。え。歸。う。い。つ。づ。り。を。と。と。放。ち。入。れ。小。鯉。鮒。小。魚。を。と。敷。せ。い。ま。さ。く
乃。水。香。と。り。て。臭。と。さ。ん。と。す。り。け。き。さ。か。が。く。廣。派。と。ぞ。ろ。池
こと。あ。ら。び。か。く。て。将。軍。の。殿。よ。入。敷。屋。の。横。板。の。擦。擦。入。入。それら
四方。を。い。れ。ん。あり。い。し。は。あ。れ。風景。は。よ。い。い。け。い。誰。が。相。教。奇。か

る。そ。と。こ。ハ。せ。終。へ。ハ。停。止。や。仁。心。と。も。志。志。う。く。の。美。と。い。れ。い
P。と。れ。ハ。そ。れ。を。る。せ。と。い。目。え。へ。何。分。れ。ま。普。請。の。夏。を。む
ね。と。す。ら。と。い。り。ふ。く。ふ。ぬ。い。此。あ。の。身。を。で。か。こ。く。か。れ。り。よ
お。ろ。ろ。せ。と。何。あり。が。う。銀。百。枚。異。服。と。い。ま。さ。に。出。役。人。合。へ
糸。の。糸。約。束。の。通。り。埋。P。さん。や。し。う。う。へ。の。役。人。お。ど。ろ。き。是
か。ど。い。擦。擦。入。入。い。し。は。を。う。め。さ。せ。さ。う。ら。こ。り。と。さ。う。ら。ま。て
埋。て。ま。ま。志。よ。や。ら。り。其。ま。さ。く。く。

林本や

堂。ハ。屋。よ。よ。つ。て。賢。さ。き。當。代。の。人。す。い。ん。ぬ。う。ぬ。角。の。ユ。美。と。す。れ
ども。き。り。と。い。り。け。り。い。世。の。中。と。捨。び。ち。ら。う。さ。ぬ。る。ぞ。し。
え。来。欲。う。れ。世。界。ま。て。昔。より。今。年。ま。で。今。や。ど。い。い。時。節。ハ
こ。さ。り。ぬ。と。い。や。さ。る。あ。い。ま。も。多。く。あ。り。あ。い。ま。の。で。う

すりのあり。天運はまうすのこと。寝てまつ果報より先
へ借淺の足よく。家産よんをるる。おのり必ふむるま
で懐と出し。とれれくが後世の傳授車。如くあるべし。後世を
れをよろしく法の男むの庵よ小海をつけて。小人のやれ具
ともふべき物と。ツサ又づよ賣居けるを。向屋町于物や暮ら
んてと。おいは毎日くむいと買はふんや。おはは笛の仕出し
面白し。おむい笛一日よりやど賣。何れお出るや。されが仕合
よき目共七十。さびくき時四又十。細工よをへかけ。びおへ出るまでのら
くよ。賣れる不し。くきすあり。首をさす。七十賣て百四也。入
おあり。其れおむいと笛の竹。赤紙つけて百三付七十。足入れ。バ
七十の金。又十四又むり。かくる也。一日の法。細工と賣と。うけて九
十又づあり。をよき法。利とい。ども。ぬ天。ホもあるべし。おはは笛乃

細工一日よよあうけて。懐出し。おはは計百は。ほあり。百三付百二十又
と極め。出来次第何やど。おこもけ方。買込。お。おれ。一日の代
二百六十又。元百中。又。百又。つ。は。り。り。あ。し。よ。法。用。あり。お。
して。職。細工。を。あ。り。高。ハ。商。む。り。あ。う。で。い。あ。方。の。て。い。お。
い。お。き。を。の。あ。り。お。れ。バ。一。日。く。り。九。十。又。法。を。ん。う。り。の。細。工。一。及。よ。て。百。三。
十。又。よ。向。屋。へ。む。り。向。屋。う。り。百。中。十。又。よ。し。七。法。方。初。へ。お。ろ。せ。バ。向。
や。ハ。十。又。の。口。積。の。法。あり。を。お。こ。せ。又。づ。よ。賣。れ。バ。又。後。世。と。ある。こ。
れ。一。ま。と。ひ。く。こ。方。れ。後。世。を。ず。や。と。か。れ。ば。は。男。う。か。づ。き。た。お。の。
り。ハ。大。方。存。あり。い。れ。ど。も。は。込。か。お。け。は。合。あり。日。よ。て。う。さ。れ。
お。と。さ。し。こ。へ。出。こ。さ。す。お。ん。ハ。す。さ。う。が。是。う。り。又。世。ま。ま。の。懐。出。
細工。い。う。描。糸。プ。ー。と。物。來。し。て。ま。う。れ。う。り。お。それ。う。り。甚。
あ。り。お。は。め。り。京。大。坂。の。向。屋。は。ある。か。どの。を。い。と。買。こ。り。もの。

すうでのやうよ出立て方こもさ。せうのり十支むくの男の
まごもれ抜ひかるおへうりて。社より貝ニツニツなどてうせ
まうりければ。まごも抜びごいとぎとらうめけるかどよ。うり
ふあるまへのあひ。これもくともぎし。京中ハツよ及
ハ次をををのときとやりう。これども。向やくよあけ
れば。ご場だの直後。ごまの箇も又とやと出し。法方は細工
すれども。怨角だいまく。ツク又うよとびて。大さの刺とら。む
いのあがりよ。向をへ買らう。の法用と。ぬもちい。いつき
おぐら。おぐら。ぬらち。たせ。美目あ。くま。りし。丁をお。く。とや
其らくの。せいよん。とつ。く。家。大坂。長崎。よ。林本。や。松ら。として
隠れ。ま。ま。若。お。れ。ども。か。か。て。こ。て。着。よ。う。り。り。り。米。さ。よ。て
身。ご。い。と。を。う。一。お。よ。も。均。行。ま。て。三。州。毘。沙。乃。浦。な。よ。ゆ。り

の若乃ありれば。は。お。下。り。並。本。の。松。げ。よ。甚。と。名。焼。酒。杯
ア。海。乃。茶。こ。ん。賣。と。う。る。と。ら。ひ。つ。き。社。来。の。人。よ。賣。り。て。ゆ
乃。酒。世。と。か。し。少。し。は。合。お。と。り。て。二。ひ。の。ち。よ。金。五。五。三。分。の。を
せ。め。て。ま。り。で。か。く。こ。う。の。材。本。よ。も。れ。つ。く。と。は。が。を。お。お。る
お。う。保。倉。の。飛。脚。を。お。お。ら。ま。り。あ。う。う。六。十。文。の。茶。こ。ん。よ。ツ
つ。い。で。く。つ。ち。れ。と。ふ。く。れ。ん。ご。お。敷。や。く。ま。か。へ。る。を。ま。を。例。と。休
で。ご。さ。れ。ま。い。日。の。さ。い。よ。さ。つ。う。を。ぎ。と。や。と。あ。い。う。ろ。さ。れ。ば。は。夜。操
倉。大。火。の。よ。て。大。言。お。お。家。を。あ。う。せ。り。病。ご。も。お。れ。ば。此。の。か。い
そ。ぐ。と。と。り。ず。後。り。して。初。の。方。を。賣。り。ゆ。松。ち。う。ま。く。す。ま。し。先
ん。世。を。は。ま。の。お。五。三。分。を。賜。よ。ひ。つ。け。本。房。の。山。跡。へ。け。つ。け。松。本。と
い。や。よ。さ。う。と。よ。び。う。ろ。松。や。松。ち。う。ま。き。材。本。を。の。り。と。り。ま。よ
松。ち。う。ま。き。の。よ。け。代。ご。も。松。ち。う。ま。か。つ。う。風。俗。さ。あ。ぐ。う。白。庸。死

後世の事
松本



のり領じたる神あれたるをとりてよく買てみ拾あつた女あんな
とそこよあひいひ。茶ツツけらるも下女まなごうも代とあや
ひあぐしむきふせむ。をいあうぬとるよ。乳母とがうしき
女こつぞうりれ子を抱きあるるをづけ。是これの涙丸どののら
ぬこよいふ志やいふを。年づよこつてごさります。茶飲そらふ生
れつきてうちくふとくとあうし。そごよあうつる火燈よて火燈を
やき。使中よりせきよあ友のふれをぬし。定をあけごよりよつぎ
楊枝のよれよつけく。これく伯父がまげがうく。おんおよとやりけり。
乳母おどろき高き。主婦よえすれば。二親肝をつづ。是只今よ
あう。使大坂よかくれあきあひの枝本やあはじ。ねとたひの枝若
ハ各がよてごごととあうぬ身持世間かあうとさきもの。トこく
ふよりり身持をた懸する若のかねもちよあうらたう。は法買人

と俄よ搥てををもちやう。座敷へ待ど。田舎酒みてははよあ
いすもまへ先きうていれはゆよ。あうりませと。さまくの孫抱
よて此の神。ねもろひ乃は親のあごごよと親。其親とね
てまねうり。をいを枝の材本とんりぐり。大小よかき。使枝
より。使やう種。材本よこくおんとら。使候を極め。使面よあ
る。其目の買ち百七十八貫六百目。使明らんどこくと買チ
へ。と。又百四十六貫。買ふ買へ。使鎌倉大坂よまき。さう材
本やの人。使もくと本。さう話へけつけ。買はんとせ。よ。大方
け夜の月よまき。まは枝あう。買はれ。その材本やびても其
まもい。人も賣。とごさります。か。この材本やへくも其人も
い。人も買。買す。た。是はまあ。いある材本やぞとこくおんを
く。枝をき。んれ。は。使。て。ま。さ。よ。た。と。れ。枝。あ。う。が。く。中。買。

夜更の使車
巻の巻

扱丁をいそぐ大工の若くあらず。だましつらりともあらず。
魁角利とつけく^{あやまらう}をきき^たて^し亭主よお貸すれ^ば。丁^{かん}
八百でえんと。枚あつあよひごまづき。けい^しと^はつ^ふん^のん^のん^の
よ入あぐ^ら大やうよかま^ん。死^んけ^な度^らの^りと^へ下^り枝^木と^雲一
子細ハ^{かん}強^ち密^ちの^りよ^て。長^今世^らへ^ハ吐^くが^うく。大^分枝^木
の入^用をあ^て。去^らる^れ振^りの^り也^いと^あい^ふか^くの^りご^う。さ^うり
あ^ぐ。け^な度^の鎌^倉火^のの^りと^なら^うぬ^れ難^き枝^木よ^お歴^この
枝^木雲^よあ^りあり^ある^よ。け^な度^のら^よあ^いさ^ぬる^り不^化の^り
あり。ど^ちら^うて^りあ^ける^も日^し及^び理^あれ^ば。出^用と^の入^用枝^木
ハ^あ跡^よて^ちも^並よ^ある^ると^穿て^り利^とと^らま^ず。先^とそ^の
流^中の^出用^洞（^ま）と^利と^らり^くく^ら。扱^も大^股中^か商^人か
と^感。赤^きの^りけん^まう^ら。二^割扱^よら^う。三^日り^りり

かそれくよえつころい^やべ^し。先^を扱^よの^り棄^下され^ば。い^は言^ふ
二^度乃^は残^りの^りひ^やる^り。其^えれ^ハ福^の神^乃は^東流^とな^ず
れ^ば。す^いん^まこ^めよ^あり^やう^よと^すべ^しと。亭^主扱^の
ま^ねど^つよ^らい^く情^と出^し。扱^のが^うく^よて^も三^百
扱^乃流^用と^ゆく^二ご^ひ報^復は^よさ^くや^け死^をぞ^りり。
今^ハ表^本屋^梅と^名を^うえ^くゆ^びら^う

後^ハ伝^授東^十卷^之一

△[△]△[△]△[△]

